

「愛知県高潮対策検討委員会 第1回準備会」の開催結果について

1. 概要

平成28年10月7日午後3時よりウイंकあいちにて「愛知県高潮対策検討委員会 第1回準備会（以下準備会）」を開催しました。

『準備会出席委員』

氏名	所属
喜岡 渉	名古屋工業大学 教授
水谷 法美	名古屋大学 教授
加藤 茂	豊橋技術科学大学 教授
北野 利一	名古屋工業大学 准教授
加藤 史訓	国土交通省国土技術政策総合研究所 河川研究部海岸研究室長
鈴木 健之	国土交通省国土技術政策総合研究所 沿岸海洋・防災研究部 沿岸防災研究室長

2. 内容

○準備会の設置趣旨について

準備会の設置趣旨を説明した。

○座長の選任について

水谷委員（名古屋大学 教授）が座長に選任された。

○高潮対策の主な課題について

高潮対策の主な検討課題について、事務局から説明を行った。

- 愛知県はその地形特性から高潮による影響が大きい。
- 水防法改正に伴い、水位周知海岸の指定と高潮特別警戒水位の設定を行う。
- 想定し得る最大規模の高潮をもたらす台風の規模と経路の検討が必要である。

○今後の進め方について

平成28年～29年にかけて開催する旨の説明を行い、了承された。

3. 主な意見

委員からの主な意見は以下のとおり。

- 伊勢湾については三重県も含めて湾全体として検討を進めていくことが重要である。
- 名古屋港の高潮防波堤は粘り強い構造形式となっており、決壊の可能性について検討が必要である。
- 台風が遅い場合は水位上昇の継続時間が長くなるため、氾濫域が広がる可能性がある。

